

安全の為に必ずお守りください

警告

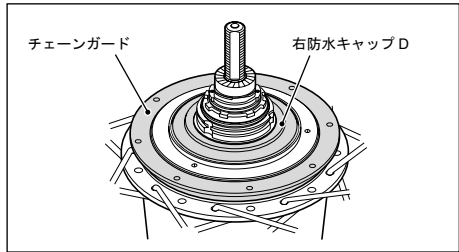
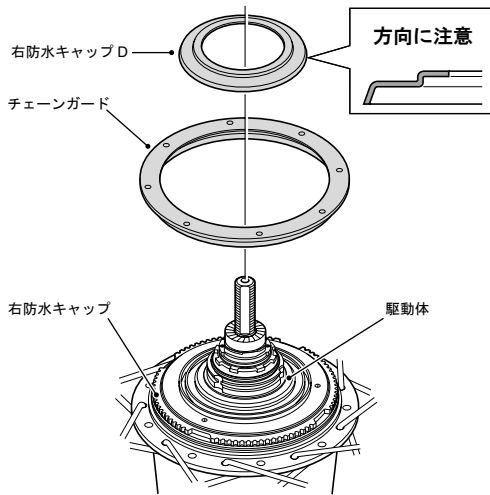
- フレームにハブを取付けるときは、所定の回り止めワッシャーを必ず左右に取付け、ハブナットを規定トルクで確実に締付けて固定してください。回り止めワッシャーを片側だけ取付けなかったり、ハブナットの締付けが不完全であると、回り止めワッシャーが外れてハブ軸が回転し、カセットジョイントが回り、不意にハンドルが変速ケーブルで引張られて回る等、重大事故につながるようになります。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- ハブシェルにあるボルトは、オイル交換時に使用するボルトです。オイル交換時以外は、絶対に緩めないようにしてください。オイルが漏れて飛び散ることがあります。
- ディスクローターを取り付ける際にロータースペーサーを必ず入れてください。ディスクローターにガタが出て、音なりやブレーキ不具合の原因となります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意：

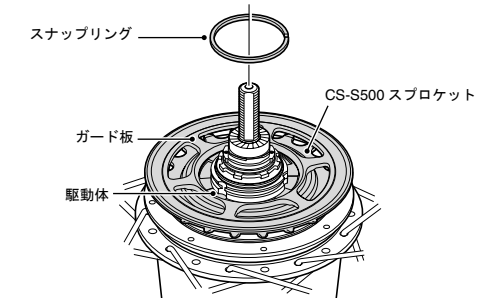
- 車輪を組む際はスポークを 6 本組または 8 本組で組んで使用してください。ラジアル組で使用しないで下さい。スポークや車輪の破損またはブレーキ時に音鳴りの発生する恐れがあります。
- ペダルを踏みながら変速ができますが、変速したあとで確実な変速動作のため、ハブ内部の爪とラチェットの間でまれに音が発生する場合があります。
- 11 段ハブには変速をサポートする機構が内蔵されており、変速時にサポート機構が働いた場合、音や振動が発生します。またギアの位置によって、変速の感触が違う場合があります。ギア位置が 7 ～ 11 速のときにクランクを反対にまわしたり、自転車をうしろに押した場合にも音が発生します。これらの現象はいずれも内装変速構造によるものであり、内部の故障ではありません。
- CJ-S700 カセットジョイントには、18T ～ 23T までのスプロケットをご使用ください。
- CT-S500 チェーンテンショナーを使用する場合は、専用の CS-S500 チェーンガード付スプロケットの 18T または 20T をご使用ください。それ以外のものを使用すると、チェーン落ちする可能性があります。
- フロントのチェーンリングはギヤ比が約 1.9 になるように設定することを推奨します。
例：F34T - R18T、F39T - R20T、F45T - R23T
- 製品の性能を維持するために、使用開始から最初は 1,000km、その後は 2 年間に一度（頻繁に乗車される場合は 5,000km ごと）を目安に、自転車購入店もしくはプロショップで、内部のオイル交換などのメンテナンスを推奨します。またメンテナンスの際は、SG-S700 OIL、TL-S703 メンテナンスキットを使用してください。オイル交換をするときは、TL-S703 の取扱説明書に従ってください。右側のシールを交換するときは、TL-S704 を使用してください。SG-S700 OIL を使用されない場合、オイルが漏れる、変速機が正常に作動しない等の不具合の原因となる可能性があります。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を伸ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合は、ギアとチェーンを交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法または調整方法について疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- ハブの分解は行わないでください。分解が必要と思われる場合は購入された販売店にご相談ください。

CS-S500 チェーンガード付スプロケットの取付け

- チェーンガードをハブ本体の右防水キャップに取付け、次に右防水キャップ D を駆動体に取付けます。

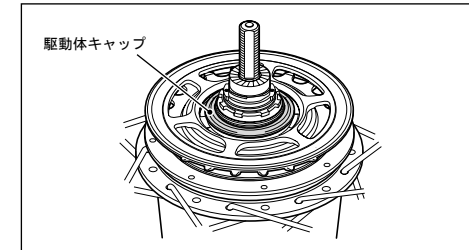
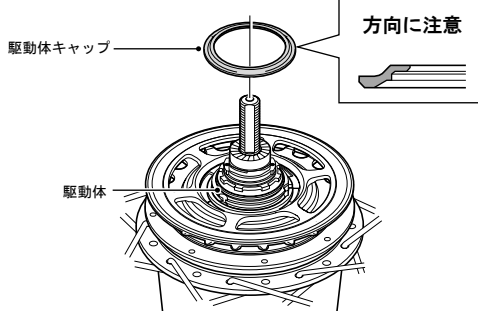


- ガード板を外側にして、CS-S500 スプロケットをハブ本体右側の駆動体に取付け、スナプリングで固定します。

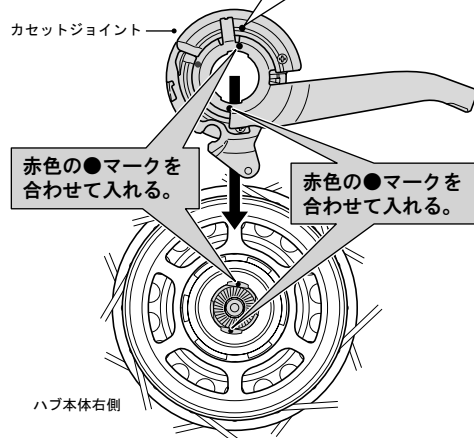
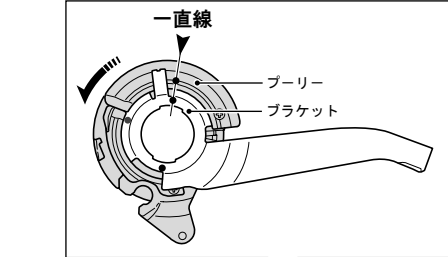


カセットジョイントのハブへの取付け

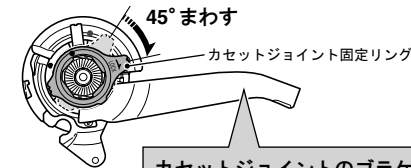
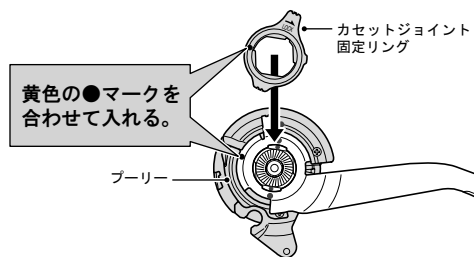
- 駆動体キャップをハブ本体右側の駆動体に取付けます。



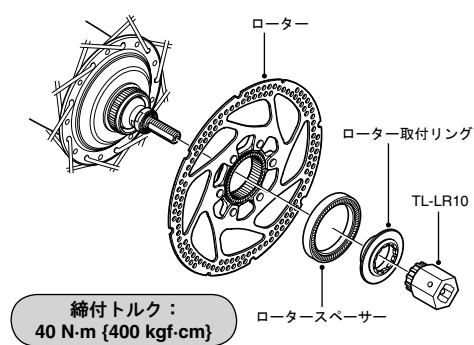
- カセットジョイントのプーリーを矢印の方向に回し、プーリーとブラケットの●マーク（赤色）を一致させた状態で、カセットジョイントの●マーク（赤色）をハブ本体右側の●マーク（赤色）に合わせてセットします。



- カセットジョイント固定リングで、カセットジョイントをハブ本体に固定します。カセットジョイント固定リングの取付けは、黄色の●マークをカセットジョイントのプーリーの黄色の●マークに合わせて入れ、カセットジョイント固定リングを 45° 時計方向に回します。



ローターの取付け



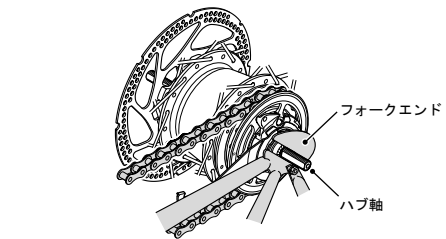
締付トルク：
40 N・m {400 kgf・cm}

ハブのフレームへの取付け

チェーンテンショナーを使用する場合と使用しない場合のハブのフレームへの取付け方法は同じです。

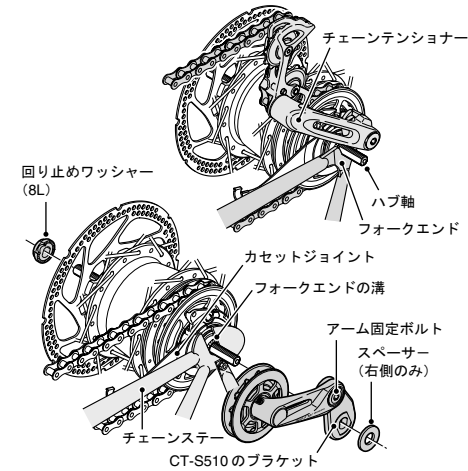
- チェーンをスプロケットに掛け、ハブ軸をフォークエンドにセットします。

チェーンテンショナーを使用しない場合

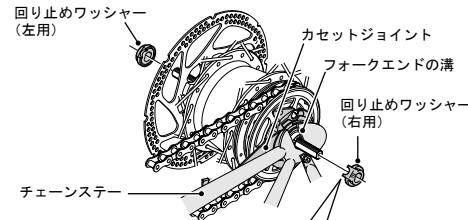


チェーンテンショナーを使用する場合

チェーンテンショナーを使用するときは、チェーンテンショナー（CT-S500/CT-S510）に添付されている取扱い説明書をお読みください。

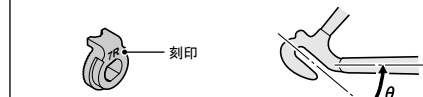


- ハブ軸の右側と左側に回り止めワッシャーをセットします。このとき、フォークエンドの溝に、回り止めワッシャーの突起部が入るように、カセットジョイントを回し、チェーンステアの内側に沿うようにします。



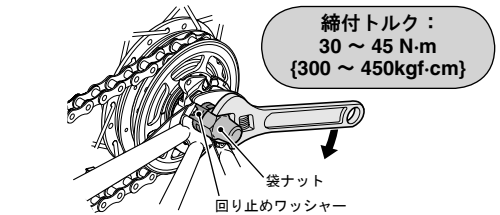
- 回り止めワッシャーは、フォークエンドの形状にあったものをご使用ください。なお回り止めワッシャーには、それぞれ右用と左用があります。

フォークエンド	回り止めワッシャー		サイズ
	右用	左用	
逆 爪	5R/ イエロー	5L/ ブラウン	$\theta \leq 20^\circ$
	7R/ ブラック	7L/ グレー	$\theta \leq 38^\circ$
正 爪	6R/ シルバー	6L/ ホワイト	$\theta = 0^\circ$
正 爪 (全ケース)	5R/ イエロー	5L/ ブラウン	$\theta = 0^\circ$
ストレートドロップ	8R/ ブルー	8L/ グリーン	$\theta = 60^\circ \sim 90^\circ$



- 突起部をフォークエンド側にセットします。
- 突起部をフォークエンドの溝に確実に入るように、ハブ軸の前側または後側に入れます。

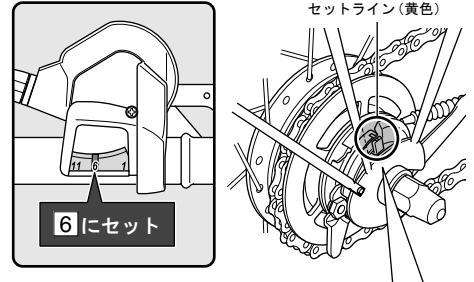
- チェーンのたるみを取り、車輪をフレームに袋ナットで確実に固定します。



締付トルク：
30 ～ 45 N・m
{300 ～ 450kgf・cm}

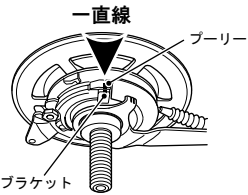
カセットジョイントの調整方法

- シフトレバーを[11]→[6]にセットします。この状態で、カセットジョイントのブラケットと、プーリーのセットライン（黄色）が一致していることを確認してください。

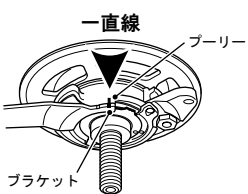


カセットジョイントのセットライン（黄色）は、上部と下部の 2 ヶ所にあります。見やすい方をご利用ください。

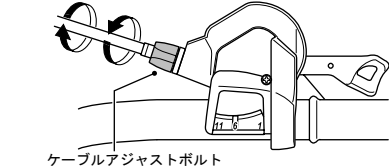
自転車を正立させた時



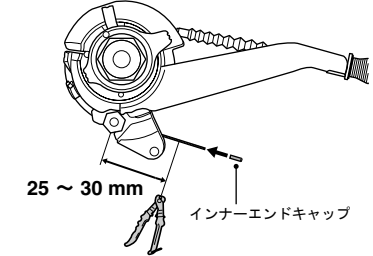
自転車を倒立させた時



もしセットライン（黄色）が一致していない場合は、シフトレバーのケーブルアジャストボルトを回して、セットラインを合わせてください。その後、シフトレバーをもう一度[6]→[11]へ、そして[11]→[6]に動かして、セットライン（黄色）が一致していることを再度確認してください。



- カセットジョイントの調整後、余分なインナーケーブルを切断します。その後、インナーエンドキャップを取付けます。インナーエンドキャップを取り付けた後、チェーンに当たらないようインナーケーブルを外側（フレームエンド側）に少し曲げてください。



この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

※ 取扱説明書は右記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961
Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

SG-S700
CS-S500
CJ-S700

インター 11
ディスクブレーキ用ハブ
チェーンガード付スプロケット
カセットジョイント

ご使用方法

ブレーキ及びシフティングレバーに添付されている取扱い説明書も合わせてよくお読みください。